

智頭町百人委員会事業

採択事業 不採択事業

平成29年度

(円)

部会	プロジェクト名	事業の概要	予算	決算	町事業
商工観光	会議のあり方を見つめ直そう ～ファシリテーター育成プロジェクト～	・会議手法を学ぶための公開講座を実施する。 ・会議に対する関係者の意識変革を図ると共に、今後、継続的に生産的&効率的な会議を行うための勉強会及び専門サポーター(ファシリテーター)の育成を行う。	150,000	150,000	-
生活環境	町民協力型環境まちづくり事業 町民参加のエコ活動をしよう!	・那岐地区での清掃活動参加。 ・家庭でのエコ活動。 ・環境エコに関するポスター作成事業。(智頭小学校連携) ・「エコキャップ回収運動」の継続実施。	185,000	122,760	-
健康	みんなで支える健康・福祉	・健康情報リーフレットの作成。 ・町のイベントに参画し、運動・食事等の大切さをPR。「大人の体力測定」、「カラダ想いのヘルスイ〜ツ提供」、「AED講習会(成人・小児・ベビー)」の実施。 ・町報と告知端末を活用した健康情報の発信。	273,000	205,404	169,000
特産農業	智頭のルバーブを食卓に! ルバーブ(カンス) ブランド化プロジェクト	・ルバーブ生産者の拡大と育成。栽培講習会の開催。生産者グループの組織化とシステム構築。 ・新商品開発。食品衛生管理責任者等の資格取得サポート。メニュー開発講習会、料理教室。町民参加によるルバーブメニューコンテスト。地域施設の有効活用。智頭農林高校とのさらなる連携。 ・販路開拓。ルバーブウィーク協力店への定期的な供給。加工品。 ・特に個人林家にとって費用負担の大きい作業道開設に係る経費を支援。	250,000	250,000	-
林業	「杉のまち智頭」独自の 作業道補助金制度の導入		1,980,000	1,796,332	-
	「安心してください」「はいてますよ」 防護ズボン購入制度の導入	・自伐型林業研修等で参加される個人林家の着用は作業ズボンが殆ど。個人林家に防護ズボンの購入を支援することにより安全意識の更なる向上を目指す。	-	-	1,225,000

教育文化	子育て世代を中心とした 多世代の住民居場所づくり ～あたご保育園跡地利活用案～	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代住民居場所づくりへの賛同者を募り、チームを立ち上げる。 ・建物の状態、町の利活用計画、住民や地域課題等の現状把握調査。 ・住民及び子育て世代の親から利活用に伴うにヒアリング、アンケートを取る。 ・公園、リノベーション例の類似事例の見学やアドバイザーを招き勉強会をする。 	-	-	-
	学びにも選択肢を！ ～智頭町にあるべき 新しい学校の形を求めて～	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野の人たちを含めた勉強会の開催。 	-	-	-
獣害対策	森のやっかいものを地域資源に!!	<ul style="list-style-type: none"> ・獣肉処理施設を運営する上で必要な技術の習得などに係る経費への支援。 ・獣肉のおいしさを広くPRし、ジビエ料理の認知度を上げる。 ・捕獲頭数の増加を図るため、狩猟免許取得を支援し、捕獲者を増やす。 	250,000	235,060	-
鳥取大学	智頭宿まちかどプラットホーム構想 ～空き家のリノベーションと IT技術の活用～	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭宿全体を「生きた博物館」として環境整備するために、平野家の利活用を検討する。 ・鳥取大学建築環境工学研究室のメンバーを中心に、それをサポートする職能者(鳥取大学教職員・建築士会等)で「Forest Valley(フォレスト・バレー: FV)」を設立する。 ・平野家利用に向け、清掃活動WS、もの作りWS(裏庭整備・杉玉作り・風鈴作り・木製看板等)等を開催。 ・Code for Tottoriと協力して「オープンデータ・ハッカソンin智頭宿」を実施。 	1,147,000	485,027	-
合計額			4,235,000	3,244,583	1,394,000